PlayStation
THE WITCH OF SALZBURG
ザルツブルグの魔女

凄惨なる
アント
それ
For Japan Only
プレイヤー 1人
メモリーカード 1ブロック
このゲームには暴力シーンや
グロテスクな表現が含まれています。
SLPS 00872

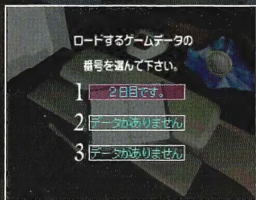
光景は、アーヌの余蘊かとも……

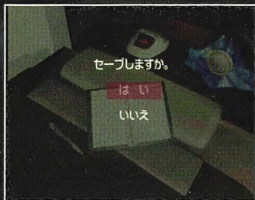
ノイエシュタット、それが彼らの訪れた城の名であった。
中世という時代に惹かれた富樫光一は、古城に眠る魔女伝説を確かめるべく
ザルツブルグの地に足を踏み入れる。
志は違えども、同行した彼らにとってそれは、
好奇心を充足させるためのただ静かな非日常になるはずであった。
だが彼らの前に示されたのは、悲しみに押しつぶされる闇怨の叫びだった。
果たしてそれは、現世に蘇るアントアーヌの遺された思念なのだろうか。
横たわる惨死を背に生きて城を出るための物語が始まる…

CONTENTS

SLPS 00872

1.初めて物語に入る

メモリーカードをセットしてゲームを起動させると、
左のようなメニュー画面が現れる。初めて遊ぶときは
メニューから「ＳＴＡＲＴ」を選んで、
ＳＴＡＲＴボタンを押してゲームを開始する。

2.続きを見る

前回ゲームを途中で中断し、
その続きから遊びたい場合は、
メニューから「ＣＯＮＴＩＮＵＥ」を選んで、
ＳＴＡＲＴボタンを押す。
３つあるファイルの中から１つを選んで○ボタンを押そう。

3.セーブする

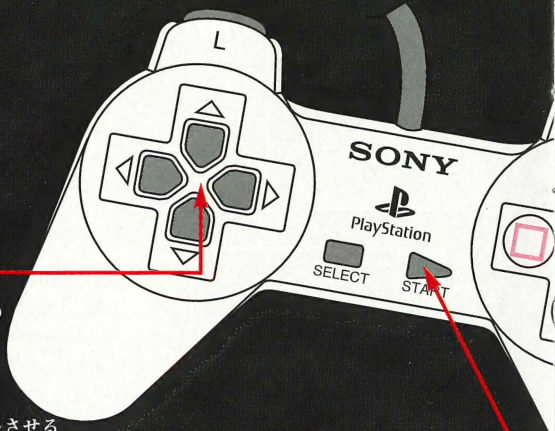
セーブができるのは就寝前に部屋に戻ったときのみ。
他の場所や起きている間はセーブすることができない。
セーブするときは３つあるファイルの中から
１つを選んで、○ボタンで決定する。

物語を始める

GAME START

方向キー MOVE

移動モード：キャラクター（富樫）の
　　　　　　上下左右への移動
会話モード：選択肢を選ぶ
　　　　　　カーソルを動かす
　　　　　　画面を左右へスクロールさせる

SONY
PlayStation
SELECT
START
L

物語は、主人公である富樫光一をコントローラで操作して進める。
基本的に移動モードで城内を歩いて、色々な部屋を調べて回り、
会話モードで他のキャラクターから情報を得ることで進展していく。
富樫の行動や選択肢の選び方によっては、途中で物語が終わってしまうこともあるので、
慎重に行動しなければならない。このゲームでは、特に複雑な操作方法は無いが、
各モードによって多少ボタンの役割が変わってくるので、それをここで紹介しよう。

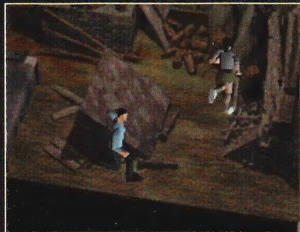
操作の方法
CONTROL

SLPS 00872

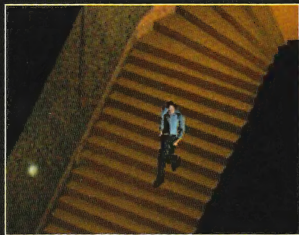
○ボタン CHECK

移動モード：現在いる部屋や通路の状況を調べる
キャラクターに話しかける
文字表示を消す・城門を開ける
会話モード：選んだ選択肢を決定する
会話を進める

×ボタン CANCEL

移動モード：ボタンを押しながら
方向キーで移動することで、
走って移動できる
（ただし階段上では使用できない）
会話モード：部屋（宿舎）から外に出る
ロード画面：キャンセルして
オープニング画面に戻る

STARTボタン SYSTEM

移動モード：使用しない
会話モード：使用しない
オープニング画面：オープニングムービーをとばす
ゲームを始める・続きをプレイする

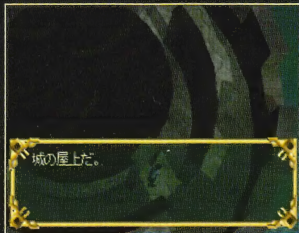
※このゲームでは△ボタン・□ボタン・SELECTボタン・R1・R2ボタン・L1・L2ボタンは使用しない

歩く

Walk
Run
Step

方向キーでキャラクターを歩いて移動させる。このとき×ボタンを押したまま移動すると走ることができる。ただし階段上は走ることができない。一緒に行動するキャラクターがいる場合は自動的に付いてくる。

扉を開ける

Open
Enter

キャラクターを扉に近づけることで、中にはいることができる。基本的にボタンを押す必要はない。なお、扉が見えない位置では、床が白くなっているので注意しよう。白い部分に立つとはいることができる。

調べる

Check
Get
Talk

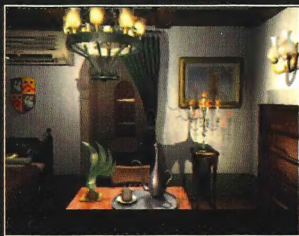
○ボタンを押すと、現在いる場所の周囲の状況を調べることができる。また、マップ上の特定のポイントを調べることや、そこに何かが落ちていた場合、それを拾うこともできる。他のキャラクターが近くにいる場合、その方向を向いていると話しかけることができる。

移動モード

MOVING MODE

会話

緻密に描かれた人物を前に、その表情を窺いながら主として会話をするモード。多くの場合、１人を相手に○ボタンを押して話を進める。食堂など大勢の集まる部屋で会話をする場合も、同様に○ボタンを押して話を進める。このときキャラクターの頭上に水色のカーソルが表示されていれば、方向キーで話す相手を選ぶことができる。

部屋

就寝時間に自室（富樫の部屋）に入ると、それまでの物語を途中でセーブ（記録）することができる。３つあるファイルの中から、空いているファイルか、必要のないファイルを選んで○ボタンを押す。セーブはこの決められたときにしかできないので注意しよう。

人の話はよく聞く

広い城内を自由に歩くことができるこのゲームでは、次に何をしたらよいのかを常に把握しておく必要がある。多くの場合、重要な会話は一度しか表示されないため、安易に○ボタンを押していると、重要な話を聞き逃してしまうこともある。十分注意しよう。

会話モード
CONVERSATION MODE

魔女の呪いに魅せられし人々

ノイエシュタットの魔女に興味を抱く、呪いに招かれたキャラクターは全部で8人。職業、性格ともに様々で、個性にあふれている。なかには互いを知るものもあるが、彼ら全員に共通するのは、『古城を探るツアーに参加している』ということだけである。
彼らの運命を弄ぶのは果たしてあの中世の魂か、それとも魔女の衣を借りたここにある者なのか。

富樫 光一
KOHICHI TOGASHI

20歳。C大学に通う大学生。中世に興味があり、大学でも中世西洋史を専攻している。勉強は苦手だが、明るくスポーツ万能で友達は多い

長谷部 健一
KENICHI HASEBE

43歳。有名な西洋建設家。常に前向きで気さくな性格。スポーツが大好きで、いつも体力作りに余念がない。一見無神経に見えるが、実は他人を気遣う繊細さも持っている

登場人物紹介
CHARACTER GUIDE

北原 沙希
SAKI KITAHARA

20歳。富樫と同じ大学に通っている。好奇心旺盛で、何事にも物怖じしない。富樫以上に中世に憧れており、将来はヨーロッパに住むのが夢だという

林
HAYASHI

？歳。ノイエシュタット城の管理人。何事も思いつめる性格らしく、めったに笑わない。名前や年齢など、詳しい事は何一つわからない、得体の知れない人物である

本庄 悟
SATORU HONJOH

43歳。M大学の中世史講師。年齢の割に若く見える容姿で、女子学生に人気がある。面倒見が良く、優しいので、皆に信頼されている

海藤 一
HAJIME KAIDOH

44歳。富樫の通っている大学の西洋史助教授。富樫と北原を今回の取材旅行に誘った人物。人見知りが激しく、陰気で気が弱いため、生徒の評判はイマイチ

アントアーヌ
ANTOINE

ザルツブルグに遺る魔女伝説の女性。時代は中世の頃、その美貌から宮中に嫁いだものの、刻を重ねるにつれ失われる美しさと夫の愛情に、彼女は激しく傷ついてしまう。魔女の助言を受けた彼女は、若さを取り戻すために殺した人間の返り血を浴びて狂喜する。だがその姿に恐れをなした人々は、彼女を魔女として死罰に処する。しかし執行の直前、彼女は牢中から永遠に姿をくらましてしまう

小野寺 正樹
MASAKI ONODERA

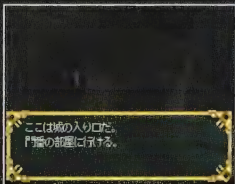
43歳。K出版の編集部。今回は、雑誌『西洋文化研究』の取材のため皆を集めた。仕事はきちんとこなすが、人嫌いで自分以外の人を信用していない所がある

沢田 利信
TOSHINOBU SAWADA

44歳。W大学の助教授。中世ヨーロッパ史の権威で、時々テレビなどにも出演している。紳士的で明るく、自信家である。時には自意識過剰で煙たがられる事もあるようだ

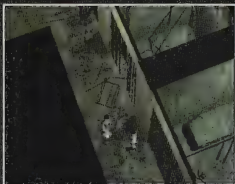
ノイエシュタット城 案内図

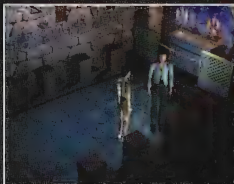
MAP GUIDE

ドイツとオーストリアの国境にたたずむ古城、ノイエシュタット。ここでは一行の生活の場であり探求の地でもある城内の様子を、全体図を元にして詳しく紹介していこう。城内はやや入り組んでおり、複雑に繋がっているので、地図を見て迷うことのないようにしたい。今開いているP12-P13で1階・地下1階・地下2階を、次のP14-P15で2階・3階・屋上と各階層別に紹介しよう。

❶城門

釣り橋によって、城内と外を繋いでいる唯一の通路。出口はここにしかない

❷門番の部屋

城門を監視する門番が使用していた小部屋。今はがらくた置き場のようになっている

❸牢屋

幽閉されていたアントアーヌが姿を消したといわれる牢屋。現在は使用されれていない

❹礼拝堂

中庭にある、神に祈りを捧げる教会のような小さな建物。現在も使われているようだ

❺応接間（食堂）

当時は音楽の演奏を聴くための広間だったものが、改装され食堂として使われている

❻倉庫

食料などの日常のものを保管しておく貯蔵室。現在も同様の使われ方をしているようだ

❼厨房

管理人である林が、調理に使用するキッチン。器具などの設備は現代のものである

❽拷問部屋

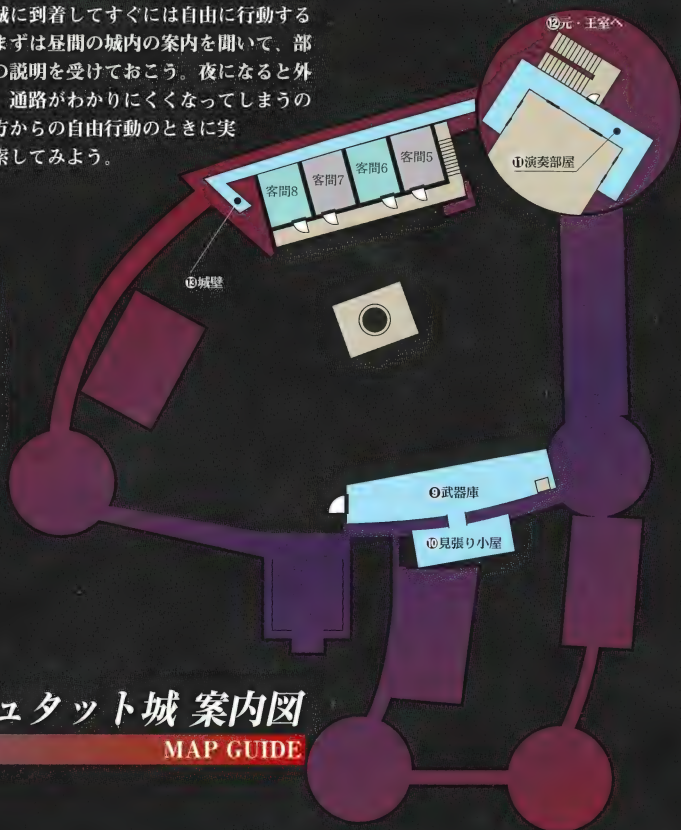
囚人を拷問するための部屋。ここでアントアーヌは多くの人の命を奪っていた

ノイエシュタット城に到着してすぐには自由に行動することができない。まずは昼間の城内の案内を聞いて、部屋のつながりとその説明を受けておこう。夜になると外が暗くなって扉や、通路がわかりにくくなってしまうのである。そして夕方からの自由行動のときに実際に自分の足で探索してみよう。

⑫元・王室へ
⑪演奏部屋
客間5
客間6
客間7
客間8
⑬城壁
⑨武器庫
⑩見張り小屋

2F
客間5/富樫
客間6/北原
客間7/本庄
客間8/長谷部

ノイエシュタット城 案内図
MAP GUIDE

SLPS 00872

⑨武器庫

当時は武器の保管場所であったが、現在では1階の倉庫と同じ使われ方をしている

⑩見張り小屋

城外に迫る敵を遠方まで見渡すことができる小屋。現在では使用されていない

⑪演奏部屋

1階の演奏部屋（現在は大広間）を見下ろすことができる踊り場のような場所

⑫元・王室

当時豪華な王室だった場所も、現在ではがらくたの散在する小部屋になっている

⑬城壁

王室から城壁上に出る。通路の先のある扉はカギがかかっていて行き止まりになっている

⑭屋上

王室の向かって右にある扉から通路を経て、塔の頂上に出ることができる

Producer : Susumu Tsuji

Co-Producer : Mitsuyoshi Murayama

Based on a Story : Akiko Tanaka YukinoriMachiyama

Director : Ken Aso

Screenplay : Hirosi Ogino Hitoshi Ogino Hiroki Kamata Ryutaro Kohara

Program : Hiroshi Ogino Ryutaro Kohara

CGDesign : Wataru Takahashi Ken Aso

Sound : Hiroki Kamata

Script Editer : Ryutaro Kohara Jun Aoki Yukinori Machiyama

PackageDesign : Nob Takagi Koji Yamanaka Ken Aso

Special Thanks : Satoshi Namiki

スタッフ
STAFF LIST

使用上のご注意

●このディスクは家庭用ビデオゲーム・コンピュータ“PlayStation”専用のソフトです。他の機種でお使いになると、機器等の故障の原因や耳等の身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC | J マークあるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の“PlayStation”にのみ対応しています。海外仕様の“PlayStation”では使用できません。●「解説書」および“PlayStation”本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい使用方法でご愛用ください。

●このディスクを“PlayStation”本体にセットする場合は、必ずレーベル面(タイトル等が印刷されている面)を上にしてください。また、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後“PlayStation”本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●ディスクは両面とも、指紋、汚れ、傷等をつけないように取り扱ってください。またシール等を貼付したり、鉛筆、ペン等で文字や絵を書かないでください。●ディスクが汚れた時はメガネふきのような柔らかい布で、内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取ってください。その時、レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤等で補修されたディスクは誤作動の原因になりますので絶対に使用しないでください。●直射日光のあたる場所、暖房機器の近く等高温の所には保管しないでください。また、湿気の多い所も避けてください。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損等に関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

●“PlayStation”本体をスクリーン投影方式のテレビ(プロジェクション・テレビ)には絶対接続しないでください。残像光量による画面焼けが生じることがあります。●ソフトによってはメモリーカードが必要な場合があります。「解説書」で確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状が起きた場合は、すぐに中止し医師の診察を受けてください。